

大野市和泉地区

化石保全活用計画



平成25年3月
大野市

表紙の解説

背景の場所は、アンモナイトを豊富に産出する地層として有名な和泉地区貝皿地係にある洞ヶ谷です。

写真のアンモナイトは、和泉地区長野地係で平成24年に大野市民が発見した、約1億6000万年前のアンモナイトです。アンモナイトは貝類ではなく、頭足類と呼ばれるイカやタコの仲間です。

はじめに

九頭竜川上流域に位置する和泉地区には、古生代から中生代のさまざまな地層が広く分布しています。特に中生代の手取層群からは、恐竜化石や植物化石、貝類化石のほか、地質の時代を特定するアンモナイトなどの化石が多数発見され、学術的にも世界的に注目されています。また、古生代の地層からはウミユリや三葉虫、サンゴなどの希少化石も発見されています。

和泉郷土資料館には、これまでに発見された化石の一部が展示されていますが、今後の中部縦貫自動車道などの公共工事等により、さらに貴重な化石が数多く発見されることも想定されることから、展示の充実を図ることにより地域の活性化につながることを期待されます。

市では、こうした状況を鑑み、長期的かつ総合的見地に立った化石の保全と活用を図るためのマスタープランとして「大野市和泉地区化石保全活用計画」を策定いたしました。また、第五次大野市総合計画の基本施策「豊かな自然環境の保全と創出」の中に新たな施策として「化石の保全と活用」を追加いたしました。

本計画では、学術、教育、観光の3分野を柱として13の基本目標と53の具体的な施策を取りまとめ、地域の貴重な資源である化石について、その価値が多くの人に理解され、化石の保全と活用に対する意識の高揚につながっていくことを目指しています。

本計画の策定に当たりまして、ご尽力をいただきました策定委員の皆さまをはじめ、貴重なご意見やご提言をお寄せいただきました市民の皆さま、関係機関・団体の皆さまに厚くお礼申し上げますとともに、本計画に掲げました施策の推進に際しましても、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年3月

大野市長 岡田 高大

目 次

第1章	計画策定の趣旨	1
第2章	計画の位置づけ	2
1	第五次大野市総合計画との関係	2
2	他の計画、プラン等との関係	2
第3章	和泉地区の地層	4
	和泉地区周辺の地質図	5
1	古生代の地層（古生層）	6
2	飛騨外縁帯の時代未詳の地層	6
3	中生代の地層（中生層）	7
第4章	和泉地区の化石の特色	10
1	古生代の化石	10
2	中生代の化石	10
第5章	化石をめぐる基本方針と基本目標	17
1	基本方針	17
2	基本目標	18
第6章	化石をめぐる具体的な施策	19
1	学術分野	
(1)	重点保護区域の指定	19
(2)	化石の保全に向けた条例の制定	19
(3)	公共土木工事等の施工に伴う化石の保全	20
(4)	化石及び地層の研究	20
(5)	協同事業による発掘調査の実施	20
2	教育分野	
(1)	和泉郷土資料館の充実	21
(2)	学校での化石に関する学習の充実	22
(3)	生涯学習による市民意識の高揚	22
(4)	化石に関する人材と市民組織の育成	23
3	観光分野	
(1)	発掘体験の環境づくり	24
(2)	積極的な情報発信	25
(3)	発掘体験を取り入れた観光プログラムの充実	26
(4)	化石に関する商品等の開発	26
	用語解説、引用文献	29
	計画の策定経過、計画策定委員名簿	33